



インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2018-2019年度 ガバナー 福田 金治

2019.9 / vol. 13 総集編

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL: 0956-37-2740 FAX: 0956-37-2741
E-mail: ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp



2019年ロータリー国際大会（左は増本一也地区幹事）
（2019年6月2日（日） ドイツ・ハンブルク）

私がガバナー職を引き受けたのは、私が現在までにロータリーから受けた恩恵に、少しでもお返しができるという気持ちからでした。

佐世保ロータリークラブの会員として、クラブ内での活動地区に出向いた際は、地区内での活動を通じて私なりのロータリー活動について考えを持っておりましたので、私のガバナー年度では歴代のガバナーの運営方針とは多少違う方法で運営させていただきました。

その結果、クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長、地区委員の皆様にはご迷惑をおかけしたことに対して、心からおわび申し上げます。

本年度は、新しいガバナーのお考えで新年度が運営されると思いますが、私もパストガバナーとして、少しでもご協力出来るように努力させていただきます。

一年間、ご協力ありがとうございました。

ガバナー ロータリー情報

前年度を振り返って

ローターアクトの時代から通算しますと、私は50年間ロータリーと関わって生きてまいりました。

いつも申しておりますが、学生時代の友人を除けば現在、私がお付き合いをさせていただいております友人は、ほとんどがロータリーを通じて知り合った方ばかりです。

CONTENTS

● ガバナー補佐退任挨拶	2
● 地区幹事・地区委員長退任挨拶	4
● 2019-2020年度 地区研修・協議会報告	8
● 第7回全国インターアクト研究会報告	9
● 国際青少年交換委員会 JAPAN TOUR紀行、全国大会参加報告	9
● 2018-2019年度 地区ローターアクト年次大会のご報告	10
● 新会員紹介	10
● 逝去会員、寄付者紹介	12
● 2018-2019年度 地区主要行事報告	13
● 2018-2019年度 地区会計報告	14
● 国際大会に出席して	16

ガバナー補佐退任挨拶



第1グループガバナー補佐
音成 日佐男
(佐賀RC)

一年間で指導いただいた、福田ガバナー、増本地区幹事、第1グループ各クラブの皆様、本当にありがとうございました。

また、以前の区分のように、率先して第1・2Gの合同会長幹事会を企画し、内容の濃いIMを実施していただいた第2グループ田中ガバナー補佐と佐賀南クラブをはじめ、第2グループの皆様にも感謝を申し上げたいと思います。

ロータリーには職業奉仕や青少年奉仕といった普遍的なプログラムがあります。つまり、社会的に奉仕をする人を育てる組織であると同時に、地球環境や防災、少子高齢化、引きこもりなど社会の諸問題に對峙している専門組織や団体との橋渡しや支援をしていることを、グループ内各クラブの活動や例会から知ることができました。

ロータリー運動が百年以上も世界的に活動できているのは、変えてはならない奉仕の理念と現代社会や地域の諸問題に敏感に向き合った社会奉仕活動をしてきたからだだと思います。そういう意味では各クラブの活動は多様性があっても良いことを学んだ1年間でもありました。お世話になりました。



第2グループガバナー補佐
田中 洋介
(佐賀南RC)

年当初からガバナー公式訪問が例年よりも早くから始まりしました。各クラブとも資料づくりとか、ロータリーも変革期を迎え、その対応に大変だったと思います。

まずはグループ内の担当分担を整理し、共有できるようにしました。IMについては当初からテーマは『会員増強と退会防止』で決定していました。

1部では 最初に駒井パストガバナーに会員増強の正論的な講演をしていただき、福元パストガバナーには現実的に仕事をもう少し前面に出してもいいのではないかと、将来に向けて「ロータリーのあり方」を考える提案をしていただきました。

2部では 佐賀南RCの北島恭一会員にコーディネーターとして取りまとめをしていただきました。第1Gから佐賀RCの大坪恵介会員と多久RCの飯盛康登会員、第2Gから佐賀北RCの池田和雄会員と神埼RCの合瀬一男会員に 元氣のある活発なクラブの代表でパネラーとして登壇していただき、実践的な活発な意見交換をしていただきました。

各クラブのたくさんの登録出席をいただき、盛会に終わることができました。

佐賀西RCの隅康二会長が地区の補助金委員長をされています。佐賀地区からも何とか補助金を使った事業をしようという指導をいただき、それに応えて第1Gからは多久クラブが、第2Gから佐賀西・佐賀北・神埼・佐賀南の4クラブが申請をし、事業をすることになりました。第1・第2グループの会員皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

2740地区のますますの盛会をご祈念申し上げます。



第3グループガバナー補佐
原 幸二
(嬉野RC)

嬉野クラブが次にガバナー補佐を引き受ける順番になった時、在籍期間が長い私が受けなければいけないだろうと、前々から思っていたので、引き受けました。思いとは裏腹に、今まで、ほとんど、勉強していませんでしたので、その瞬間から、本当にできるのかと、不安が襲いました。6月に新旧のガバナー補佐会があり、10グループの皆さん誰もが同じ思いされているようで、少し安心いたしました。

あの日を思えば、あまりお役に立ちませんでしたが、大きな問題も抱えずに、また、元気で今日を迎えられたことを、第3グループの皆様感謝しております。

福田ガバナーの方針で会員の少ないクラブは公式訪問を2クラブ合同で行うとか、IMは補佐の判断で行うかどうかを決めて良いなど、手続き要覧に添って基本は出せずに、簡素化できるところは簡素化するという発想を示され、当初は戸惑いましたが、ロータリーを楽しむためには、今までどおりのやり方では、若い世代がついてこない、私も思っていましたので、これからの時代に即した考えだと、共感いたしました。

第3グループは7クラブありましたが、残念なことに白石クラブが今年度でRIを脱退されることになり、6クラブになりました。実働が3名ではいたしたくないと思います。最後を大町クラブと合同でIMをしていただき、有終の美で終わられました。また、いつの日か、復活されることを望みます。

終わってみればあつという間でしたが、私にとって、実りのある一年で、ロータリーのいろはを改めて福田ガバナーから教えていただき、会長幹事の時はまた違った貴重な経験をさせていただきました。

次年度は嬉野クラブで2回目の幹事を引き受けますが、この経験を生かして、新たな視点で、盛り上げていきたいと思っています。

福田ガバナー他スタッフの皆様、また、2740地区の同期のガバナー補佐の皆様、一年間、お疲れ様でした。お世話になりました。



第4グループガバナー補佐
川添 信雄
(唐津中央RC)

ガバナー補佐を退任するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。大役を果たすことができるのか不安の中で無我夢中で走った一年でした。私の担当は唐津と伊万里の6クラブでした。上半期には、各クラブ協議会への参加視察、福田ガバナー公式訪問時の随員、そして、11月の地区大会と、慌ただしく過ぎていきました。下半期には、3月9日に、第4グループのIMを開催いたしました。「職業奉仕をもう一度考えてみよう」というテーマで、駒井パストガバナーに基調講演していただきました。そして、6月中には各クラブへの退任挨拶を済ませることができました。

振り返ると、この一年間貴重な経験を積ませていただきました。各クラブがこれまで培われてきた伝統や友情を大切にして運営されていることに敬服いたしました。また、今まで触れ合う機会がなかった他クラブの皆様とお話させていただき、新たな友情を育むことができたことを大変うれしく思っています。今更ながら、ロータリーの素晴らしさを再認識し、これからも発展に寄与したいと決意を新たにしました。力不足ではありましたが、会員の皆様のおかげをもちまして責務を果たすことができました。一年間、誠にありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶



第5グループガバナー補佐
山崎 弘
(平戸RC)

最初のガバナー補佐の訪問前に第5グループ5クラブからクラブ活動計画・報告書が送られてきました。それぞれ目を通すと各クラブ多彩な色があり、とても興味深いものでした。クラブ独自のアイデアで活動されているのを知り関心しました。

そこまでしているかと感心したり、逆に会員名簿は必要最小限での記載であったり、姉妹クラブとの交流開始の記載やクラブによっては地域の皆様とのボランティアを盛んにされたり、いろいろな事業に対する積極的な協力と参加をととても大事にされたりと参考になることばかりでした。これはホームクラブにも是非とも行って欲しいということは理事会で伝えておりますので、平戸クラブにも新しい風が吹くことと思います。

ガバナー補佐の専権事項でありますIMにおきましては、第6グループと協賛で4月6日(土)に行い、11クラブの皆様のご協力を得て155名の登録をいただき、パストガバナーの野口清先生と(株)アスリンクの高石里美様の講演は盛会裏に終了することができました。

ロータリークラブの魅力でもあります多くの皆様とも出会いがあり、感謝・感謝で終わらせていただきます。ありがとうございました。



第6グループガバナー補佐
森山 隆明
(佐世保東南RC)

RI第2740地区第6グループガバナー補佐を仰せつかり、早いもので、もう1年の月日が流れてしまいました。補佐を引き受けるにあたり、不安でいっぱいでしたが、グループ内の会長、幹事さんはじめ会員皆様のご協力と職責を何とか果たすことができました。担当しましたのは、佐世保東RC、佐世保南RC、佐世保北RC、佐世保中央RC、ハウステンボス佐世保RC、佐世保東南RCの6クラブです。

就任挨拶から各クラブの協議会、ガバナー公式訪問をとおし各クラブの歴史や今年度の運営方針等をうかがい大変感銘をうけました。特に各クラブ独自の対外活動はロータリークラブのいろいろな意味での価値を高め、広報活動においても素晴らしい働きであることを認識いたしました。

各クラブでは会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも、地域のニーズに沿った奉仕活動など、それぞれの特色を大切にし、その特色を生かすクラブ運営をされていることにたいへん感動した次第です。

私自身今後も、切磋琢磨し真のロータリアンになるよう、努力して参りたいと思っております。

力不足ではありましたが、ガバナー補佐としてグループ内のクラブ訪問を重ねるごとに、会長・幹事様をはじめ会員の皆様の友情あふれる心遣いをいただき、何とか役目を果たすことができたことと、この役職をいただいたことに感謝いたします。一年間、本当にありがとうございました。



第7グループガバナー補佐
為永 伸夫
(大村東RC)

第7グループは大村、島原、雲仙、大村北、島原南、大村東クラブの6クラブであります。6年に1度まわってくる年度でありましたので、誰かが拝命しクラブの責任を果たさなくてはならないと思いました。

各クラブの皆様には例会に訪問するたびに温かく迎えていただきました。新年度の計画書及びご意見発表を拝聴すると、各クラブの情熱あふれるロータリー活動に接することができました。「自身ますます自己研鑽!!」と感じました。

2月2日は、IM(インターシティーミーティング)を第7、第8グループ合同で開催いたしました。「長崎OMURA室内合奏団」の素晴らしい演奏と芸術監督 村嶋寿深子先生のお話、また、(株)ジャパネットたかた創業者 高田明氏の講演は職業奉仕の新しい時代を模索するきっかけとなりましたように思います。

大村から島原南クラブまで約1時間30分ほどかかりますが、高校駅伝の懐かしいコースや、普賢岳大噴火の時には災害派遣に行きました大村陸上自衛隊の活躍を思い出しながら、楽しいドライブでありました。

最後になりますが、佐古パストガバナーには温かい励ましとアドバイスをいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

福田金治ガバナー、地区運営スタッフの皆様、各クラブの皆様を支えられて一年間無事終了いたしました。

皆様のご支援に深く感謝申し上げ退任の挨拶といたします。



第8グループガバナー補佐
桑田 隆朗
(諫早多良見RC)

2018-2019年度も今月で終わります。私のガバナー補佐としての仕事も終わりを迎えます。諫早5クラブの皆様、大変お世話になりました、感謝申し上げます。

2740地区の10人のガバナー補佐の顔合わせから始まり、第8グループ5クラブの挨拶まわり、クラブ協議会(講評などをしましたが、各クラブに失礼などなかったでしょうか)、福田金治ガバナー公式訪問に同行しました。

諫早5クラブ幹事の諫早西クラブには、会長幹事会開催、大変お世話になりました。諫早5クラブ合同例会には、第8グループのロータリアン全員のご協力が得られました。同時開催のゴルフコンペでは、諫早北クラブの活躍がありました。

第7、8グループで開催されたIMには、全会員の登録ありがとうございました。第7グループの為永ガバナー補佐、大村東ロータリークラブの皆様ありがとうございました。

次期ガバナー補佐の決定では、諫早クラブにご迷惑をお掛けしました。快く引き受けていただき、ありがとうございました。

諫早南ロータリークラブ20周年に参加させていただきました。諫早多良見ロータリークラブの皆様、物心両面でのご協力ありがとうございました。

ガバナー補佐の仕事では、多くの知り合いと各クラブの協力を得て、私の人生を豊かなものにしてくれました。

皆様に感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任挨拶



第9グループガバナー補佐
江口 正則
(福江中央RC)

広島に旅行した数年前のことです。

同窓会のメンバーで、原爆資料館の見学ということになり入ったのですが、私は、早めに出て出口付近に座ってメンバーが出てくるのを待っていました。

出てくる外国の人達の様子を何気なく見ていると、一様に全員が暗い表情をしていたことを記憶しています。入口で想像したもの、実際に観た物とのギャップに激しいものがあったと思います。出口での会話は、暗く、数少ないものだったと記憶しています。入口と出口では、人の気持ちは、こうも異なるものかと思うようになりました。同時にこの資料館が平和活動に大きな貢献をしていると確信しました。

離島の人間がガバナー補佐の役目を果たすのにどのくらいの日数・時間が必要か、思案して、四苦八苦の日々もありましたが、終わってみると晴れ晴れしい気持ちが全身を貫きます。「やって良かった」良い経験をさせていただきました。同時にいろいろな方とお知り合いになれたことが、大きな宝物になったように思います。多くの出会いに感謝しております。

各クラブの会長さん、会員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



第10グループガバナー補佐
瀬崎 陽三
(長崎東RC)

2018-2019年度の第10グループガバナー補佐として一年間務めさせていただきましたが、当初は大役を引き受けたことに対し、大変不安に思っておりました。しかしながら何とか無事にガバナー補佐の職を終えることができ、振り返ってみますとあっという間の一年だったと思います。これもひとえに第10グループ内の会長・幹事及び会員様の協力の賜物だと思っております。

この一年間を振り返ってみますと、グループ内の各クラブが、どのようなボランティア活動をされているのかが良く分かり、その内容をグループ内の自クラブや他のクラブに共有させてもらうことで、大変参考になり各クラブの活性化に繋がったのではないかと思います。私としてはその事がガバナー補佐をやらせていただいて本当に良かったと思いますし、また楽しい一年を過ごすことができました。

今思えば一年間ガバナー補佐を務めさせていただき、本当に良かったな！と思いますし、今後は他の会員の方にも、是非前向きにガバナー補佐の職を引き受けていただけたらと思います。

最後に、第10グループの皆様、各ロータリークラブ様にとってお役に立てたかどうか分かりませんが、一年間、本当にありがとうございました。

地区幹事退任挨拶

地区幹事

増本 一也
(佐世保RC)



地区幹事を終えて

福田ガバナーとこの一年半、行動を共にしてまいりました。ガバナーと地区幹事の関係は、会社の上司と部下、兄弟、家族、師匠と弟子、あらゆる面でその絆は特別でした。福田ガバナーは、その知識を存分に発揮され、地区の運営に一石を投じられました。地区組織、クラブ定款細則等、私にとっても大変勉強になることばかりでした。また、これまでの知らなかった国際ロータリーのことやロータリー章典のこと、パストガバナー諮問委員会のこと、ガバナー補佐の方々を通じて知った各クラブの現状、どれをとっても皆さんがロータリーを心より愛されていることを肌感覚に感じました。また、様々な素晴らしい方々との出会いの中でも、細谷伸夫RI会長代理ご夫妻とお知り合いになれたことは大変光栄に思っております。エイド役を引き受けてくださった岩永信昭ご夫妻には、最後の最後までお付き合いいただき心よりお礼申し上げます。

最後に、地区の役員の皆さん、そして古賀巖佐世保RC会長をはじめ、地区大会実行委員長の橘高克和さん、地区副幹事の松尾文隆さん、事務局の豊村みどりさん、そして佐世保RCの皆さん、私が地区幹事を何とか務められたのも皆さんのおかげです。ありがとうございました。

地区委員長退任挨拶

クラブ管理運営委員会

委員長 **竹田 健介**
(平戸RC)



昨年の9月18日(火)に、全会員を対象に研修会が行われました。これは管理運営委員会、会員増強委員会、公共イメージ委員会の3委員会合同のセミナーとして開催されたものです。平日の午後4時からの開会にもかかわらず、約250名の参加をいただきました。

今期は会員増強を唱える前に、まずは新会員の定着をいかに図るかが肝要だと福田金治ガバナーの思いが表れたものでした。同じ2740地区での事例として創立20周年を迎える長崎出島RCの安達健太郎会長に発表していただきました。新会員にカウンセラー制度を設け、いかにフォローアップしていくか。新会員に対する心配りがいかに大切かということを痛感いたしました。

安部直樹パストガバナーからも示唆に富んだお話をいただき、2時間でこの研修を終了しました。

更にその後に懇親会を行い、大いに歓談し、親睦を深めることになりました。ロータリーは各クラブ会員の一体感を高め、その力を地域を良くする活動に向けなければなりません。各自が培った経験をいかに他の人のために役立てることができるかが問われています。一人一人がちょっとした思いやりや人を喜ばせようという気持ちを持つことが大事です。

地区委員長退任挨拶

会員増強委員会

委員長 **加納洋二郎**
(佐世保RC)



前任の佐藤委員長から引き継ぎ、初めて2740地区会員増強委員長を務めさせていただきました。

まず最初の活動として、7月14日(土)大阪で開催の“2018-2019年度RI第三ゾーンロータリー戦略計画推進セミナー”に、福田ガバナー、増本地区幹事と共に出席しました。

本会議は各地区ガバナーの運営方針の発表が主体でありましたが、会員増強関連では共通点として会員の高齢化、不況に起因する退会者とは別にコミュニケーション不足による入会3年未満の退会者が増加傾向であることが発表され、今年度福田ガバナーの入会者よりも退会者防止に注力の意味を改めて実感した次第です。

9月18日(火)には“全クラブを対象とする会員研修会及び懇親会”を佐世保の地にて、クラブ管理運営 竹田健介委員長、公共イメージ 久保泰正委員長とともに三委員会合同研修会を開催いたしました。

例年と違う形で、また懇親会を伴う平日の開催ということで準備段階では大変苦慮いたしましたが、結果的には多くの会員の皆さんにお集まりいただき、和やかな懇親会も開催でき、“会員相互の交流が退会の防止の大きな役割”となることを目指した研修会でもあり、概ね目的を達成できたものと考えます。地区三委員会のメンバー、また各クラブの会員増強に関わっていただいた方々、そして地区の役員・会員のすべての皆様の協力体制に心より感謝申し上げます。

会員拡大は永遠の課題ではありますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

公共イメージ委員会

委員長 **久保 泰正**
(諫早西RC)



当地区に公共イメージ委員会がつくられて2年目になりました。私も委員長を継続するという形でスタートになりました。本年度も皆様のお陰をもちまして、年度末までにMy Rotaryアカウント登録につきましては、45%まで上昇し、全国34地区の中で第7位というところまで登録率を達成することができました。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。

幸いにも、地区各グループのクラブからはそれぞれ委員になっていただき、また元RPICの岩永バスターガバナーからは助言もいただきながら、大変心強い委員会活動をさせていただきました。

本委員会は、ロータリー戦略計画の1つである公共イメージと認知度の向上を担当することになるのですが、まずもってRI第3ゾーンの重点目標であるMy Rotaryのアカウント登録率の向上と、Rotary Club Central 各項目に目標と達成率を入力することに力を注ぎました。

地区目標として、年度末までには50%達成を目標にしましたところ、ガバナー補佐をはじめ、各クラブの会長、幹事、委員長など多くのロータリアンの皆様のお陰をもちまして、年度末までに目標をほぼ達成していただきました。大変感謝申し上げます。

また、ご協力くださった委員の皆様はもとより、地区ガバナー事務所のスタッフの皆様をはじめ、各クラブの事務局女性職員の皆様には重ねてお礼申し上げます。

本年度は、公共イメージ委員会の活動の基礎づくりがほぼできたのではないかと考えています。来期も引き続き委員長を継続することになりましたが、皆様のより一層のご協力をお願いいたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

ロータリー財団委員会

委員長 **西川 義文**
(大村RC)



2018-19年度R財団財団委員会では、補助金委員会・資金推進委員会・ポリオプラス委員会・資金管理委員会という4つの委員会と補助金委員会内の奨学金友小委員会、地区補助金小委員会、グローバル補助金小委員会という3つの小委員会という窓口も幅広く広い委員会活動を行いました。

本年度も地区内の皆様からいただいた貴重な年次基金への寄付を、地区内各クラブに行う奉仕活動に活用いただき、21クラブの行う事業と「ジェンダーと貧困問題」分野研究でサセックス大学院に留学している酒井さんへ地区補助金奨学生としての支援や、タイとネパールへ「水と衛生」問題解決への調査支援へ総額55,406ドル活用させていただきました。このような地区内や世界での奉仕活動ができるのも、会員お一人お一人からいただいた貴重な善意の寄付金があったからです。深く感謝申し上げます。

また、1979年にフィリピンの子供たちにポリオ予防接種をはじめて以来、WHOやビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団やユニセフ、世界各国による懸命な撲滅活動を続け、全世界でポリオ発症数99パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆様からの支援が欠かせません。支援にはさまざまな方法があります。わずかな時間でも、わずかな寄付金でも、世界でポリオを撲滅して、子どもたちを一生ポリオから守るために、“一人ひとりにできること”を実行することが大切です。世界で根絶された「天然痘」の次に「ポリオ」を根絶しましょう。

R財団セミナー開催時に地区奨学金学生の帰国報告会があり、肺がんや乳がんの研究、熱帯地方のマラリア感染の研究、ネパール等の貧困地域の経済活性化や紛争の予防など、多様な学びを終えた奨学生の話は新鮮で興味深い話を聞くことができました。

引き続き、グローバル補助金を使った2名の奨学生を英国とカナダに派遣することとなりました。人道支援活動としてタイやネパール、モンゴル更にチェルノブイリ原発事故により放射線に曝露されたベラルーシの人々に対する支援活動を図っていきます。

R財団委員会及び各委員会は、財団日本事務局やアメリカの財団本部と、グローバル補助金では海外のクラブと申請・連絡・報告と多様かつ複雑で忍耐と交渉力が必要な委員会です。

委員一人ひとりとはそれぞれの職業で大変多忙な方々が多い中、音をあげることなく最後まで尽力してくださることに感謝申し上げ、長き期間R財団委員会に在籍できたことに感謝申し上げます。委員長退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 **小川 信**
(佐世保南RC)



2018-2019年度の地区の組織が変わり、奉仕プロジェクト委員会の委員長を仰せつかりましたが、委員会が多岐にわたり、国際奉仕・国際青少年奉仕・職業奉仕・社会奉仕・インターアクト委員会等があり、何をどうすべきか理解できず、委員の皆様、各委員長の皆様方には大変ご迷惑をおかけし、何の協力も出来ず深く反省いたしております。

しかし各委員長さんの努力により、各委員会が順調に終わっていただきましたことに感謝申し上げます。各委員長様、委員の皆様方お疲れ様でした。

次期の委員長さんは地区幹事さんと協議の上、委員会活動が順調に行われ、2740地区の発展と会員皆様の協力が得られますよう、よろしくお願いいたします。

地区委員長退任挨拶

職業奉仕委員会

委員長 **山本 正樹**
(佐賀南RC)



2018-2019年度地区職業奉仕委員長退任に際し、まず皆様に職業奉仕委員会の活動にご理解とご協力、またご支援を賜りましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

瞬間の一年間でしたが、9月に開催した地区職業奉仕セミナーでは、第2510地区の玉井清治職業奉仕委員長の講演をとおして理念と実践のあり方を学びました。

職業奉仕委員会は次年度より組織変更となり、社会奉仕委員会にその責務が統合されます。よって私が最後の地区職業奉仕委員長となりました。

ロータリークラブの第一の真価は奉仕する人を育成し社会に寄贈することだと考えます。

4月に2720地区のRLIの研修に参加させていただき、高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化する為にも必要なプログラムであることを実感しました。

2740地区もロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化する為にも次年度からはRLIの導入を行う予定です。

最後に地区委員長に推薦いただき、素晴らしい仲間との出会い、素晴らしい経験の機会を与えていただき、心より感謝申し上げて挨拶に代えさせていただきます。

米山記念奨学委員会

委員長 **大家 和義**
(小城RC)



早いもので、2018-2019年度の任期を、無事に終えることができたと思っています。

これもひとえに、福田ガバナー、増本幹事のもとに、地区委員の皆さん、57クラブの会長・幹事・米山委員長・会員の皆さんの温かいご厚情の賜物と、深く感謝申し上げます。

旅立った12人の米山奨学生の皆さんに、寄り添ったお世話ができたのだろうか？長崎・佐賀県内の各大学へ留学している15名の米山奨学生の皆さんとは、学校の始業と同じく、2018年4月の「オリエンテーション」時より付き合いが始まり、2019年3月の「修了式」までが皆さんと一緒に行動する事業でありました（3名の2回生がいます）。

この期間の事業は、5月「米山委員長セミナー」・6月「学校説明会」補助・7月研修視察旅行・8月「カウンセラー・奨学生研修」・9～12月「出前卓話」・米山月間の10月「米山の集い」・11月次年度、「面接官のオリエンテーション」補助・12月「面接試験」補助・1月「学友会・総会、懇親会」など、思い起こせば一つひとつにいろいろなことがありました。充分なお世話ができたのかと思いつつ、修了した米山奨学生の各人が将来を切り開いていくことを願いつつ、常に連絡が取れるように「学友会」の充実を図り、末長い付き合いができればと思っています。

また、米山記念奨学会は常に、年度を重複して段取りをしていかなければなりませんので、ガバナー・地区幹事・事務局・地区委員の皆さんのご協力をいただかなければ遂行が難しいので、今後とも切によりしくお願いいたします。更には、57クラブのロータリアンの皆さんの浄財の基に、成り立っておりますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

2019年の4月からは、次年度の15名の米山奨学生の皆さんとお付き合いが始まっております。既に、15名の米山奨学生の皆さんは4月の「オリエンテーション」を経験し、5月の次年度の56クラブの「会長・幹事・米山委員長のセミナー」に参加しており、これから2020年の3月までに、地区大会・米山の集い・出前卓話・国際交流会・総会・面接試験など年中行事がありますので、ロータリアンの皆様に米山奨学生に励ましの声掛けをお願いし、地区委員長の年度末の挨拶といたします。

ローターアクト委員会

委員長 **西畑栄一郎**
(佐世保東RC)



一年を振り返りますと、地区代表者会議に始まりまして地区の委員の皆様のご協力のもと、ローターアクトクラブ活動に携わってまいりました。

年々アクト会員は減少傾向ではありますが、そのような中、樋口地区ローターアクト代表をはじめローターアクト会員の皆さんの活動は、地区内外を問わず積極的に活動なさっておりまして、特に4月に開催されました福岡でのローターアクト全国研修会への多数の参加や、同会場で行われましたインターアクト全国大会での同時開催の開会行事における交流や、島原でのRYLAおよび地区年次大会への積極参加など意欲的に活動されておりました。

あるアクト会員が先の全国大会の際に、「入会当初は例会出席も消極的でしたが、地区内外の行事に参加していくことでいろいろなことに興味をもて大変楽しくなりました。」と私に話してくださったことが印象的で、ローターアクトクラブの素晴らしさを感じた瞬間でもありました。

これからも世代を超えたロータリーファミリーの輪が広がることを切に願いながら、福田ガバナーをはじめとする地区委員の皆様、ご協力を賜りました多くのロータリアンの皆様方に感謝申し上げて退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

インターアクト委員会

委員長 **徳川 清隆**
(唐津RC)



地区インターアクト委員長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

初めに、地区IAC年次大会(2018.7.28開催)の開催では、ホスト校として大変ご尽力いただいた牛津高校と牛津IACの皆さん、牛津RC(提唱RC)の皆様方、力強いお力添えで成功裏に終わり、関係者の皆様方に改めて感謝いたします。

次に、佐賀県波戸岬少年自然の家に開催した「青少年ミニフェスタ」(2018.10.13～14開催)は、初めての企画として検討した研修会です。この時期、通常であれば前期指導者研修会を実施しておりましたが、今回のプログラムでは、ロータリーに関する深い知識の取得と、親睦を深めるための楽しめるプランを検討し企画しました。基調講演では、講師の田村志朗氏(福岡東RC RID2700青少年奉仕委員長)の講話で、インターアクト向けとロータリアン向けの2部構成にて講演をいただき、大変有意義な時間となりました。一方、ローターアクト・地区交換留学生との交流プログラムとして、カッター体験を実施しました。そこでは、インターアクターの楽しそうな笑顔が見受けられ大変良かったです。

次に、長崎国際大学の大講義室で開催した後期指導者研修会(2019.1.23開催)では、パネルディスカッション形式で、「ロータリーの学友会を学ぼう」と題し、参加者の各代表者がパネラーとなり討議しました。ロータリーの米山記念奨学学友会やRID2650の学友会の事例を学びながら、今後の当地区での学友会創立への足掛かりを探ることができました。

最後に、九州4地区ホスト協議会(RID 2700・2720・2730・2740)で開催した「第7回全九州インターアクト研究会」では、当地区の聖和女子学院高校IACが全国より参加された方々へ向け、大変素晴らしい活動事例を発表されました。この大会の開催準備については、2年度前に九州4地区ホスト協議会を発足し、継続して会議を進め、企画検討、開催実施となる長丁場の大会となりましたが、無事終了しましたことに、関係各位に感謝申し上げます。

最後になりますが、これまでに委員会を支えていただきました地区委員の皆様、ご支援をいただきました提唱RCの関係各位、そして、ご尽力いただきました地区関係各位に感謝申し上げて挨拶といたします。ありがとうございました。

地区委員長退任挨拶

国際青少年交換委員会

委員長 **下津浦正明**
(佐世保南RC)


令和元年6月末日をもって、国際青少年交換委員会委員長を退任いたしました。任期は、1年でありましたが目標とした事業、留学生受入体制の地区内マルチ化、スポンサークラブ負担金の軽減、RID公式プログラムとしての認知向上、啓もうに挑みました1年でした。

未だ、道半ばですが本年度達成できたことは、

①受入高校の授業料、スクールバスの無償化
この努力は、委員会の皆様が各担当の学校を巡り地道な交渉を経て、各高校より承諾を得ました。これにより、将来青少年交換プログラムに参加しようとするロータリークラブは以前のような多大な予算を組む必要も無く、比較的少人数のクラブでもYEPに参加できるという最大のメリットを実現しました。

②制服も貸与（以前は各自クラブ負担で作成）

③ホストファミリーに対する助成金も月額3万円に一律改訂しまして、地区内を統一ルールにしました。

達成できなかったこと

何分、負担の多い事業ですので予算の取れるクラブでないと、この事業に参加するのは難しい面がありました。

よって、地区内グループ毎に留学生1名の受入を目標とするためにグループ内マルチ受入体制を目指すために、各グループ会議にお伺いさせていただき説得を試みましたが、地区内マルチ化には及びませんでした。

国際青少年交換のプログラムは、その委員会活動はどの委員会よりも負担が多いことは事実ですが、近年YESS (youth exchange support system) という全国共通のシステムも運営が始まり、作業も飛躍的に機械化されました。

次年度は、今年度より多くの派遣希望学生が待ち構えております。新任の委員長は全国でも珍しくアメリカ人のアーリー・ジェフリースチュアート氏(諫早多良見RC)が委員長を務めます。

今年度の委員会活動も、来日した子供達も楽しい思い出と達成感に満ちてプログラムの活性化を祈念しております。

会員の皆様の分担金を有効に使い、本年度も無事に委員会活動を終えたことを報告いたしますと同時に、退任の挨拶にかえさせていただきます。

RYLA委員会

委員長 **山口 宏二**
(長崎RC)


今年度のRYLAは、島原南ロータリークラブがホストクラブとして、雲仙休暇村にて、青少年60名、ロータリアン100名、合計160名の参加のもと開催されました。大会テーマは、「このRYLAが君を変える！」で、まず、参加した青少年が親しくなれるように交流ゲームを行い、その後、松下政経塾で塾頭をされ、現在は「青年塾」を創設し講演会などで活躍しておられる上甲晃(じょうこう あきら)氏に「学べば 変わる」という演題にてご講演をいただき、日頃から学ぶ姿勢の大切さ、学力、学歴ではなく、人間力(人としての魅力)を磨くことの重要性を青少年に説いていただきました。その後、グループごとに討議を行い発表し、お互いの考え方の認識を深めました。

夜は、雲仙キャンプ場にてバーベキューの後、キャンプファイヤーで全員で楽しく合唱し、更に親睦を深めました。

翌日は2班に分かれ「島原半島の歴史を訪ねて」、有馬キリシタン遺産記念館、世界遺産 原城跡、口之津歴史民族資料館を見学し、キリシタン弾圧による悲惨な歴史、この地域の明治期における石炭採掘搬出による繁栄と、何も知らされず東南アジアに売られていく少女の悲しい歴史などを教えていただき、参加した青少年各々が記憶に残る見学になったと思います。

次年度も引き続き地区委員長として活動することになりましたが、地区委員の方々の協力をいただき、より良い青少年活動の環境づくりに努めてまいりたいと思います。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

資金管理委員会

委員長 **岡村 康司**
(長崎南RC)


当委員会通算三期(1期3年)を終了しました。

資金管理委員会はロータリー財団委員会の中で補助金の出口にあたる役割を果たしています。人道支援、社会奉仕に使われる地区補助金(DDF)、グローバル補助金(WF)が適正に、また効率的にその事業のために使われているかをチェックさせていただきました。

今年度は25のクラブで、保健、教育、地域社会の発展、食と農、人道支援のカテゴリーに亘って97,609ドル10,736,000円の地区補助金を使っていただきました。

各クラブにおかれては、補助金の申請を起し事業を実施したのち報告書の作成に至るまでR財団の厳格なルールが適用されますが、事業が円滑に進むよう委員会として努めてきました。十分至らないところも多々あり関係の方々にはご迷惑をおかけしたと思いますが、次年度は千葉憲哉ガバナーの下で財団委員長として再び地区補助金・グローバル補助金のお世話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、ロータリー財団への多くの寄付をお願いしまして資金管理委員長の退任挨拶といたします。1年間ありがとうございました。

ポリオプラス委員会

委員長 **上田 康雄**
(長崎北RC)


一年間、エンドポリオに対するご支援ありがとうございました。

ポリオは1988年には世界125カ国において年間35万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により2009年には約1,600例まで減少、2018年は33例です。

現在、ポリオの常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国ですが、ナイジェリアは2017年以後、発症は0となっています。

次年度も引き続きポリオプラス委員長を務めさせていただきます。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

地区委員長退任挨拶

資金推進委員会

委員長 **古賀 秀仁**
(伊万里西RC)



ロータリー財団は100年以上の歴史があり、ロータリークラブは世界最大の奉仕団体だと言われております。ご承知のとおり財団ではポリオ撲滅やグローバル補助金など数々の有意義な奉仕活動を行っています。この奉仕活動の資金は皆様方のご寄付によるものです。毎年のご寄付は大変なことと存じますが、財団の奉仕活動をご理解いただき財団寄付一人150ドル/年間を達成していただきたいと思います。

公共イメージアップも含めロータリークラブが発展し続けるため、各クラブの皆様からのご寄付をお願い申し上げます。

地区委員会では、ロータリーカードの普及も薦めております。ロータリーカードを利用すれば、カード利用額の0.3%が自動的にポリオ撲滅資金にまわります。また、ロータリーカードは個人口座決済用、会社口座決済用、ETCカードと一度に3枚発行することができます。

後日各クラブ宛にロータリーカード加入のお願いを致しますのでこちらの方も是非ご協力ください。

補助金委員会

委員長 **隅 康二**
(佐賀西RC)



信号一つない道無き道を、よれよれの車に揺さぶられながら、西川財団委員長と一緒にネパールの村から村へと調査に出かけたことが思い出されます。米国の本部より2018年9月以降グローバル事業を申請するための必須条件として、現地調査が義務づけられました。いづどんな病気やアクシデントに遭遇するかわからない貧困地域への調査となると誰かに容易にお声かけするわけにもいかず…西川委員長と私は意を決してアジアの最貧国ネパールの地を選定し赴いたことでした。

今やネットの世界はあふれんばかりの情報を教えてくれますが、決して経験は与えてくれません。見たこともない現地に直接足を運び、宗教も文化も異なる人々に接し、それをインプットして、アウトプットすること、それもまた財団の委員長という任務の果たし方ではないかと感じています。

ロータリー財団の補助金委員会を3年間担当させていただきましたが、委員長という立場を、費やした時間と出費という点で振り返って見ると割りの合う役職だとは言い難いですが、人生経験や自己成長という言葉に換言すれば、他に代え難い貴重な3年間でした。

2019-2020年度 地区研修・協議会報告

地区研修・協議会実行委員会 委員長 **中村 克三** (諫早多良見RC)

去る5月19日(日)、諫早文化会館にて2019-2020年度地区研修・協議会が、地区内56クラブから2019-2020年度会長幹事をはじめ、役員の方々総勢357名の登録をいただき開催されました。

まず、千葉ガバナーエレクトよりRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」、地区テーマ「チャレンジしよう! (変化、活性化、つながる、伝える)」及び次年度方針の説明があり、その後「2019年規定審議会報告～次年度クラブ定款・細則を見直しましょう～」という演題で、岩永パストガバナーの基調講演がありました。

研修会は、6部会に分かれて行われました。会長・幹事部会では、野口パストガバナーによる「ロータリーにおける平等対等の理念について」の講話があり、クラブ管理運営・会員増強部会では、竹田クラブ管理運営委員長、佐藤会員増強委員長、公共イメージ部会では、久保公共イメージ委員長、社会奉仕部会では、帯屋社会奉仕委員長、青少年奉仕部会では、高松ローターアクト委員長、徳川インターアクト委員長、アーリー・ジェフリー国際青少年交換委員長、山口RYLA委員長、国際奉仕・ロータリー財団部会では、岡村ロータリー財団委員長、それぞれの委員長により説明がありました。

部会研修会終了後、大石次年度地区幹事より次年度地区運営についての説明と光石次年度地区会計長より次年度地区予算案の説明があり、予算案は全会一致で承認されました。研修・協議会の最後に、講評を駒井直前ガバナーにいただき、研修協議会は終了となりました。

このあと、場所をホテルグランドパレス諫早に移し、懇親会を開催しました。千葉ガバナーエレクトの挨拶に引き続き、福田ガバナーの乾杯で懇親会が始まり、それぞれのロータリアンが懇親を深めました。最後に「手に手つないで」を皆様で合唱をして、散会となりました。

最後に、この研修協議会の開催に際しまして、ご協力いただきました福田ガバナーをはじめ、千葉ガバナーエレクト、大石次年度地区幹事、地区役員の皆様、ガバナーエレクト事務所のスタッフの皆様、及びご参加いただきましたロータリアンの皆様に心より感謝いたします。

第7回全国インターアクト研究会報告

インターアクト委員会 委員長 徳川 清隆 (唐津RC)

2019年4月28日(日)福岡国際会議場にて、全国各地より229名の参加者により、第7回インターアクト研究会が開催されました。当地区からも千葉憲哉GEご夫妻、駒井英基PG、岩永信昭PGをはじめ、ロータリアン、インターアクター、顧問教諭の方々に多数参加いただきました。

本大会は、RID2700・2720・2730・2740の九州4地区ホストで開催されております。

オープニングセレモニーでは、ローターアクターと合同での会場となり、優美な琴演奏を聴きながら幕開けしました。終了後、インターアクト開会式場へ移動。今大会のテーマ「お互いの気付き・お互いの学び」で開会点鐘し、開会の辞、歓迎の挨拶と続き、RI理事 全国IA研究会委員長 三木 明さん(姫路RC)の挨拶、全国IA実行委員長 河野一郎さん(小倉中央RC)の分科会イントロダクションがあり、分科会①、②で構成された各分科会会場へ移動し、全国、九州4地区に別々となり、インターアクター、顧問教諭、ロータリアンがテーマ別に講話、討議がなされました。

全国代表校による事例紹介では、当地区より選出された聖和女子学院高校が全国インターアクター・顧問、ロータリアン向け、素晴らしい活動事例を発表されました。

RID2730担当の九州4地区インターアクト会議では、「九州のために何か良い事を1つやろう」と題し、インターアクターがファシリテーション方式にて討議されています。

分科会① 全国委員長会議では、RID2700青少年奉仕委員長 田村志朗氏の卓話を聴き、「近年の青少年奉仕への関わりとして、ロータリー青少年ファミリーの相関性や交流する機会の創出、交流を深めるための企画等を多く持ち、それぞれがRYLA等でのクロスプロモーション相関関係を築いていくことが重要である」と述べられました。

分科会② 全国委員長会議では、今後のインターアクト研究会の開催時期、開催規模、開催地(ホスト地区)を確認すべく全国地区委員から様々なご意見・ご提案が出ました。

意見集約後、今後の開催予定については、第1ゾーンRID2800山形県、第2ゾーンRID2790神奈川、第3ゾーンRID2670愛媛・香川・高知・徳島、第1ゾーンRID2510北海道西部の輪番制となることに承諾を得、会議終了。

閉会式では、各分科会での会議報告を、インターアクター、顧問教諭、ロータリアンの代表者が発表を行い、総評、次年度ホスト紹介、閉会の辞と続き、点鐘で終了しました。

この大会の開催実施に結びつくまで、2年度前から4地区協議会を発足し、準備しながら当日を迎えることができました。これまでに、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2018-2019年度 国際青少年交換委員会 JAPAN TOUR紀行、全国大会参加報告

国際青少年交換委員会 委員長 下津浦正明 (佐世保南RC)

2018-2019年度 2740地区の留学生 JAPAN TOURの開催は、全国大会開催(開催地:金沢市)に合わせて、当地区単独ツアーを開催しました。例年、2700、2730地区と合同ツアーに参加しておりましたが、東京首都圏と遊園地のみツアー内容を大幅に変更して、大阪、京都、古都金沢を加えて、東京の単独ロングランツアーを試みました。随行員はロータリアン1名のエスコートで、インバウンドの学生は4名、計5名の楽しい充実した旅となりました。

初日は、長崎空港よりLCCにて関空へ、夜は難波道頓堀を散策、こってりの関西文化を食と共に堪能しました。

2日目は、古都京都、日本文化を存分に! 690円の京都市内周遊市バスで、金閣寺、銀閣寺、清水寺、祇園の町家、伏見稲荷を観光しました。

3日目は、京都から金沢へサンダーバードに乗車して移動、午後からの全国大会に出席しました。夕方からは、全国から集まったいろんな国のインバウンド学生を交えたレセプションが開催され、交流の機会を楽しんでおりました。

4日目は、主都東京へ移動です。この日から、エスコートは委員長 下津浦と交代して、樋口地区委員(諫早南RC)が随行員に!

新幹線にて、金沢から東京へ。国会議事堂、皇居、浅草浅草寺、原宿、スカイツリーなどを見学しました。

無事に全日程を終え、翌日都内を観光して福岡空港へ。委員会にて用意したマイクロバスで長崎へ帰り着きました。

例年とは打って変わって単独ジャパンツアー開催の試みは、他地区のインバウンド学生たちにも羨ましがられる内容となりましたが、次年度は受け入れ学生も多く、ますます盛会の委員会活動となります。福田ガバナーはじめ、たくさんの方々のご支援を受け、ツアーを開催できたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

引続き次年度も、国際青少年交換プログラムをどうぞよろしくお願いいたします。



2018-2019年度 地区ローターアクト年次大会のご報告

地区ローターアクト代表 樋口 太助

日頃からローターアクトの活動と代表事務局の運営につきましてはご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

2018-2019年度国際ロータリー第2740地区ローターアクト地区代表を務めました樋口太助と申します。

2019年6月8日(土)、9日(日)に長崎県島原市で開催しました第37回地区年次大会につきまして、無事に開催できたことをご報告いたします。また、開催にあたり多数のロータリアンの皆様にはご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて今大会は島原ローターアクトをホストとし、長崎県島原市にて開催いたしました。

大会テーマを「Making act ～一人ひとりがone piece～」といたしました。

大会1日目は島原市にある南風楼を会場とし、各クラブの活動報告とレセプションを開催しました。また、2日目は島原市を舞台にジオ学習を行いました。

この2日間を通して多くのロータリアン、また他地区自地区のアクターと交流したことでたくさんの学びを得られ、それはローターアクト以外では感じたり学んだりすることは出来ないものだと感じました。

今後もローターアクトをととしてそれぞれが個々の成長につながるよう活動を行っていききたいと思いますので、ロータリアンの皆様におかれましてはご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



新 会 員 紹 介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。

4
月
入
会

佐賀RC  なかの たつひろ 中埜 拓 君 みずほ証券佐賀支店 支店長	武雄RC  きのした さとみ 木下 里美 君 ㈱佐賀銀行 武雄支店 支店長	唐津RC  まつおか けいすけ 松尾 圭祐 君 有限会社 松尾印刷所 代表取締役	唐津西RC  まつもと たかひろ 松本 隆宏 君 あおば司法書士事務所 代表	佐世保RC  もり かつゆき 森 勝之 君 JR九州ハウステンボス ホテル㈱ 代表取締役社長	松浦RC  おおかわ たけし 大川 武史 君 ㈱松浦シティホテル 宿泊部 支配人	佐世保東南RC  いざわ こういち 井澤 晃一 君 ㈱井澤電気 代表取締役	島原RC  むらなか けいじゅ 村中 恵樹 君 ㈱十八銀行島原支店 支店長
諫早RC  まつもと ひでや 松本 英也 君 親和銀行諫早支店 執行役員諫早支店長	長崎西RC  やまざき まさゆき 山崎 雅之 君 西松建設㈱長崎営業所 所長	長崎南RC  こうの じゅん 河野 純 君 野村證券㈱長崎支店 支店長	長崎南RC  おの けんいち 小野 謙一 君 住友生命保険(株)長崎支社 支社長	長崎東RC  ふじもと なおき 藤本 直季 君 東京海上日動火災 保険㈱長崎支店 支店長	長崎みなとRC  こじま つぎよし 小島 次保 君 小島社会保険 労務士事務所 所長	長崎出島RC  ありかわ まさたか 有川 政孝 君 (株)有川 専務取締役	長崎出島RC  てつか かつじ 手塚 勝治 君 (株)テヅカ 代表取締役社長

5月入会

 佐賀RC 宮崎 典之 君 第一生命保険(株) 佐賀支店 支店長	 佐賀西RC 牛島 秀朗 君 (株)九電工佐賀支店 支店長	 佐賀西RC 樋口 定良 君 森ドコモCS九州佐賀支店 支店長	 佐賀西RC 安永 治郎 君 安永法律事務所 弁護士	 佐賀西RC 原 誠行 君 あいおいニッセイ同和 損害保険佐賀支店 支店長	 唐津西RC 高田 武嗣 君 高田電機(株) 常務取締役	 佐世保RC 松本 祐明 君 ㈱テレビ長崎 佐世保支社 支社長	 佐世保RC 岸川 善紀 君 ㈱長崎新聞 佐世保支社 支社長
 佐世保RC 坂根 毅 君 代表取締役社長	 佐世保RC 小石原健二 君 東京海上日動火災保険(株) 佐世保支社長	 佐世保南RC 阿部 亮 君 ジブラルタ生命保険(株) 長崎支店・佐世保第一営業所 所長	 佐世保南RC 石田 裕 君 野村証券(株)佐世保支店 支店長	 佐世保東RC 白濱 仁啓 君 社会福祉法人 博仁会 理事長	 大村RC 山口 啓二 君 親和銀行大村支店 支店長	 諫早北C 崎田 英介 君 サキタ技研(株) 取締役	 諫早北RC 内野 弘樹 君
 長崎北東RC 早崎 悟 君 ヨツバ電工 代表	 長崎北東RC 長信 一治 君 穴吹興産株式会社 長崎支店 支店長	 長崎北東RC 平川 昌幸 君 (有)リハテック・エフ 代表取締役	 長崎北RC 鳥居塚勇人 君 大和証券(株)長崎支店 支店長	 長崎北RC 前川 啓 君 (株)前川工業 代表取締役社長	 長崎北RC 石川 英彦 君 日本生命保険相互会社 長崎支社 支社長	 長崎北RC 大串 龍大 君 (株)福昭ビル・サービス 長崎支社 支社長	 長崎南RC 長沼 孝裕 君 三井住友海上 火災保険(株) 長崎支店長

6月入会

 長崎出島RC 平井 聡 君 平井技研(株) 代表取締役	 長崎出島RC 栗山 壮一 君 ソニー生命保険(株) 部長	 長崎出島RC 加藤 博文 君 加藤産業(株) 代表取締役社長	 長崎出島RC 山崎 祥宏 君 ランドスケープ 代表	 佐賀RC 藤原 誠 君 株式会社 サガテレビ 取締役営業局長	 佐賀RC 相澤 里佳 君 SMBC日興証券(株) 佐賀支店 支店長	 佐賀RC 深町 直純 君 社会保険労務士法人 きたむら事務所 役員	 唐津RC 福岡 修 君 昭和自動車(株) 専務取締役
 唐津RC 山崎 繁行 君 ㈱佐賀銀行唐津支店 支店長	 唐津RC 水上 将史 君 いちよし証券(株) 唐津支店 支店長	 唐津中央RC 吉田 勝 君 日本生命保険(株) 佐賀支社唐津営業所 営業部長	 佐世保RC 浦 義浩 君 西部ガス(株) 佐世保営業部長	 佐世保南RC 大庭 真一 君 親和銀行 取締役専務執行役員	 佐世保中央RC 藤井 寿人 君 振興産業(株) 常務取締役	 佐世保中央RC 川上 仁哉 君 (有)カワカミ 代表取締役	 佐世保東南RC 林田 元 君 AIG損害保険(株) 営業
 大村RC 原口 典子 君 NAIL NORI 代表者	 大村RC 鶴田 幸尚 君 長崎電設(株) 代表取締役	 島原RC 吉田 真 君 (株)こつぽ商店 代表取締役	 諫早RC 松尾 剛 君 たちばな信用金庫 常務理事	 諫早多良見RC 南條 哲章 君 NPO法人かぜのあと くやまえん 理事長	 長崎北RC 吉松 保穂 君 ㈱福岡銀行長崎支店 支店長	 長崎北RC 佐藤 博之 君 ㈱テレビ長崎 編成局長	 長崎北RC 小松 俊一 君 ㈱西海建設 常務取締役

6月入会

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます



小林喜平太 会員 (長崎RC)

逝去日：2019年5月28日 (享年75歳)
入会日：1986年9月18日
勤務先：(株)稲佐山観光ホテル 取締役会長
クラブ役職：1993～1994年度 幹事



豊竹 一博 会員 (大村RC)

逝去日：2019年6月5日 (享年78歳)
入会日：1983年8月2日
勤務先：豊竹産業(株) 代表取締役会長
クラブ役職：1988～1989年度 幹事
1998～1999年度 会長



越智 敏征 会員 (長崎東RC)

逝去日：2019年6月5日 (享年74歳)
入会日：1990年7月13日
勤務先：(株)富士医科精器 代表取締役
クラブ役職：2002～2003年度 幹事
2007～2008年度 会長



富村 健 会員 (佐世保西RC)

逝去日：2019年6月17日 (享年71歳)
入会日：1992年5月12日
勤務先：(医)社団富村整形外科医院 理事長
クラブ役職：2003～2004年度 会長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団(4月)

■マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

氏名	レベル	クラブ名
本島 直幸	4	佐賀
岸川 正人	3	佐賀
山下 雄司	1	佐賀
犬養 義一	3	松浦
アーリー・ジェフリー	1	諫早多良見
松本 尚武	1	諫早多良見
荒木 健治	1	長崎

■ボール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ名
古川 尋美	佐賀南
橋口 久	HTB佐世保
杉山 和宏	HTB佐世保

■ベネファクター

氏名	クラブ名
杉田 佑保	長崎南

米山記念奨学会(4月)

■米山功労者マルチプル

氏名	回数	クラブ名
岸川 正人	2	佐賀
音成日佐男	2	佐賀
平川 知裕	2	佐賀
田中 洋介	3	佐賀南

朝長万左男 7 長崎

■米山功労者

氏名	クラブ名
福地 善孝	神埼
浅井 貞宏	HTB佐世保
川副源太郎	HTB佐世保
松本 尚武	諫早多良見

ロータリー財団(5月)

■マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

氏名	レベル	クラブ名
平野 省蔵	1	伊万里西
橋口 正	1	佐世保東
谷川 則仁	2	諫早
石本潤治郎	1	諫早北

■ボール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ名
福井浩二郎	唐津東
福母 秀一	伊万里西
堀川 博邦	伊万里西
上野 英剛	諫早
本田 時夫	長崎

■ベネファクター

氏名	クラブ名
川野 弘茂	諫早西

米山記念奨学会(5月)

■メジャードナー

氏名	回数	クラブ名
石田 一美	12	大村東
石田 賢二	12	大村東

■米山功労者マルチプル

氏名	回数	クラブ名
金子和斗志	9	伊万里西
藤谷 成微	9	伊万里西
山元 章生	7	伊万里西
小林 靖明	3	諫早

■米山功労者

氏名	クラブ名
岩崎眞二郎	唐津東
渡邊 栄二	平戸
久枝 啓介	平戸
山口 善和	松浦
岡田 金助	HTB佐世保
前田 博明	諫早

ロータリー財団(6月)

■マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

氏名	レベル	クラブ名
西村 明美	3	神埼
吉岡 励	2	神埼
犬塚 勝政	2	伊万里

川添 信雄 1 唐津中央

氏名	回数	クラブ名
森 幸雄	2	平戸
宮崎 祐輔	1	佐世保中央
本多 進	3	島原南
石田 賢二	2	大村東
佐藤 英人	2	大村東
石田 一美	1	大村東
平山 寿則	4	長崎西

■ボール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ名
谷上 守	牛津
松永 光司	佐賀大和
有吉 中	佐世保中央
松田 啓伸	佐世保中央
馬場 麻香	諫早南
長谷川妙子	諫早南
樋口 征司	諫早南
金森 浩一	諫早南
野中 澄子	諫早南
沼光 美樹	諫早南
酒井 郁子	諫早南
坂本 結花	諫早南
勢野 雄一	諫早南
徳永 静香	諫早南
進藤 和彦	長崎
深堀 俊一	長崎西

米山記念奨学会(6月)

■メジャードナー

氏名	回数	クラブ名
栗林 英雄	62	諫早北
柿川 純正	12	長崎東

■米山功労者マルチプル

氏名	回数	クラブ名
堤 眞敏	3	佐賀大和
河野 智幸	2	唐津西
福田 力	2	雲仙
松村 学	3	大村東
千葉まさこ	4	諫早南
水本 由幸	2	長崎西
宇宿 勝博	4	長崎東
中村 安志	2	長崎東

■米山功労者

氏名	クラブ名
古川 清文	佐賀北
中村 邦子	鹿島
松本 清則	唐津西
中山 吉則	松浦
近藤 義光	島原南
一瀬 俊行	大村東
深堀 俊一	長崎西

第2740地区 2019年4月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC
2019年4月平均出席率	82.3 %
2018年7月1日会員数	2,236 名
(うち女性会員)	91 名
2019年4月末日会員数	2,214 名
(うち女性会員)	96 名
2019年4月入会者	16 名
2019年4月退会者	11 名

第2740地区 2019年5月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC
2019年5月平均出席率	83.04 %
2018年7月1日会員数	2,236 名
(うち女性会員)	91 名
2019年5月末日会員数	2,235 名
(うち女性会員)	95 名
2019年5月入会者	28 名
2019年5月退会者	7 名

第2740地区 2019年6月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC
2019年6月平均出席率	83.9 %
2018年7月1日会員数	2,236 名
(うち女性会員)	91 名
2019年6月末日会員数	2,200 名
(うち女性会員)	97 名
2019年6月入会者	20 名
2019年6月退会者	55 名

国際ロータリー 第2740地区 2018-2019年度 地区主要行事報告

2018年

月	特別月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	クラブ・グループ
7月		1日(日) 5日(木) 14日(土)	第1回ガバナー会議 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 第1回諮問委員会 第3ゾーンR戦略計画推進セミナー	14日(土) 15日(日) 21日(土) 22日(日) 28日(土)	第7回全国インターアクト研究会4地区合同会議 地区ローターアクト委員会 第1回地区インターアクト委員会 青少年交換学生オリエンテーション(学生入会テスト) 地区インターアクト年次大会(マリトピア)		
8月	会員増強・拡大月間			25日(土) 26日(日) 26日(日)	第2回地区インターアクト委員会 カウンセラーオリエンテーション、米山奨学生出前卓話研修 青少年交換学生オリエンテーション		
9月	識字率向上月間	21日(金)	第2回諮問委員会	1日(土)～2日(日) 8日(土) 18日(火)	米山奨学生研修旅行(雲仙) 職業奉仕セミナー(武雄センチュリー) 全会員を対象とする会員研修(佐世保市)	7日(金)	長崎出島RC20周年記念例会・祝賀会
10月	会経米の済山発と月展月間			7日(日) 7日(日)～8日(月) 13日(土)～14日(日) 28日(日)	米山の集い 青少年交換学生 長崎くんち 青少年フェスタ 〔前期指導者研修1泊2日(インターアクト)〕 青少年交換学生オリエンテーション		
11月	ロータリー財団月間	16日(金) 17日(土) 19日(月) 20日(火)～21日(水)	RI会長代理歓迎晩餐会 (ホテルオークラJR/ハウスステンボス) 地区大会 本会議(アルカスSASEBO) 第2回ガバナー会・RI会長歓迎晩餐会 ロータリー研究会	2日(金)～4日(日) 11日(日) 16日(金) 23日(金) 25日(日)	唐津くんち見学 R財団セミナー 米山奨学生国際交流会(九州文化学園高校) 米山面接官オリエンテーション 青少年交換学生オリエンテーション	24(土)	諫早南RC創立20周年記念式典
12月	疾病予防と治療月間	14日(金)	第3回諮問委員会	8日(土) 16日(日) 16日(日) 23日(日)	第3回インターアクト委員会 2019年度米山奨学生面接試験 青少年交換学生オリエンテーション(クリスマス会) 米山学友会忘年会		

2019年

月	特別月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	クラブ・グループ
1月	職業奉仕月間	13(日)～19(土)	国際協議会(米国 サンディエゴ)	26日(土) 27日(日)	後期指導者研修会 (インターアクト):長崎国際大学 青少年交換学生オリエンテーション(学生入会テスト)		
2月	紛争解決月間	3日(日) 17日(日) 17日(日)	第11回全国RYLA研究会 第4回諮問委員会 地区チーム研修セミナー	3日(日) 24日(日)	補助金管理セミナー 青少年交換学生オリエンテーション	2日(土) 8日(金) 11日(月祝) 16日(土) 24日(日)	第7、8グループIM 唐津中央RC25周年記念式典 第9、10グループIM 北松浦RC50周年記念式典 第1、2グループIM
3月	水と衛生月間	17日(日)	会長エレクト研修セミナー	3日(日) 24日(日)	米山修了式・歓迎会 青少年交換学生オリエンテーション(花見会)	9日(土) 23日(土) 25日(月)	第4グループIM 第3グループIM KCC短期留学出国
4月	母子の健康月間	8日(月)～9日(火) 28日(日)～29日(月) 28日(日)	RI第1・2・3ゾーン会員基盤向上セミナー(東京) 全国ローターアクト研究会(2700地区) 第7回全国インターアクト研究会(福岡国際会議場) 主催(2700・2720・2730・2740地区)	4日(木) 14日(日) 20日(土)～21日(日) 21日(日)	グローバル補助金面接会 地区ローターアクト研修会 第40回ライラ(ホスト島原南RC) 青少年交換学生オリエンテーション	5日(金) 6日(土)	KCC短期留学帰国 第5、6グループIM
5月	青少年奉仕月間	10日(金) 19日(日)	第5回諮問委員会 地区研修・協議会	23日(木)～28日(火)	青少年交換学生 japan tour & 金沢会議	15日(水)	佐賀西RC60周年記念式典
6月	親睦活動月間	1日(土)～5日(水) 15日(土) 23日(日)	国際大会(ドイツ ハンブルク) 新旧ガバナー補佐交代式 第2700地区RA創立50周年	8日(土)～9日(日) 20日(木) 30日(日)	ローターアクト年次大会 グローバル補助金奨学生研修会 青少年交換学生オリエンテーション(歓送迎会)		

国際ロータリー 第2740地区 2018-2019年度 地区会計報告

地区資金一般会計 収支決算書

(単位:円)

	予算	決算	予算比
収入の部			
(1) 地区資金分担金	15,300,000	15,245,600	-54,400
(2) 地区大会分担金	11,925,000	11,930,300	5,300
(3) 日本事務局分担金	1,159,000	1,154,600	-4,400
(4) 特別会計分担金	810,000	807,120	-2,880
(5) その他収入	0	51,036	51,036
本年度収入合計(A)	29,194,000	29,188,656	-5,344
前年度繰越金	0	13,040,427	13,040,427
収入合計(B)	29,194,000	42,229,083	13,035,083

	予算	決算	予算比
支出の部			
(1) ガバナー関係費	6,650,000	7,853,420	1,203,420
GE国際協議会	1,200,000	1,200,000	0
全国G・PG会議費	2,300,000	3,286,728	986,728
地区G・PG会議費	1,300,000	1,599,452	299,452
各種会議費	1,150,000	1,067,240	-82,760
G記念品代	100,000	100,000	0
ホームページ費	600,000	600,000	0
(2) 地区活動費・補助金	14,675,000	15,180,716	505,716
地区大会	11,925,000	11,930,300	5,300
地区協議会	300,000	475,394	175,394
PETS	400,000	588,012	188,012
地区チーム研修セミナー	500,000	667,010	167,010
インターアクト助成金	600,000	600,000	0
ローターアクト助成金	550,000	550,000	0
RYLA助成金	300,000	300,000	0
R財団学友会	100,000	70,000	-30,000
(3) G補佐費	1,700,000	1,700,000	0
(4) 地区委員会費	3,380,000	3,463,825	83,825
クラブ管理・運営委員会	100,000	120,000	20,000
会員増強委員会	300,000	320,360	20,360
公共イメージ委員会	150,000	0	-150,000
奉仕プロジェクト委員会	150,000	150,000	0
ロータリー財団委員会	200,000	198,020	-1,980
職業奉仕委員会	250,000	283,630	33,630
米山記念奨学委員会	350,000	715,815	365,815
ローターアクト委員会	180,000	226,000	46,000
インターアクト委員会	900,000	595,653	-304,347
ライラ委員会	200,000	114,460	-85,540
資金推進委員会	50,000	50,000	0
ポリオプラス委員会	50,000	50,000	0
資金管理委員会	50,000	50,000	0
財団奨学学友小委員会	150,000	149,567	-433
グローバル補助金小委員会	150,000	150,000	0
地区補助金小委員会	150,000	144,422	-5,578
その他(クラブ・社会・青少年奉仕)	0	145,898	145,898
(5) 日本事務局分担金	1,159,000	1,152,600	-6,400
(6) 特別会計繰入金(規定審議会)	1,110,000	1,107,120	-2,880
(7) 研修会関係費用	0	0	0
(8) その他	0	38,070	38,070
(9) 予備費	520,000	676,170	156,170
本年度支出合計(C)	29,194,000	31,171,921	1,977,921
本年度収支差額(A)-(C)	0	-1,983,265	-1,983,265
次年度繰越金(B)-(C)	0	11,057,162	11,057,162

ガバナー事務所・月信会費会計

(単位:円)

		予算	決算	予算比
収入の部	G事務所分担金	12,150,000	12,106,800	-43,200
	月信費	2,250,000	2,239,500	-10,500
	RI補助金	1,326,281	1,326,281	0
	雑収入・その他	0	27	27
	収入合計 (A)	15,726,281	15,672,608	-53,673
支出の部	公式訪問費	300,000	379,620	79,620
	人件費	3,750,000	3,050,000	-700,000
	月信費	2,250,000	2,771,475	521,475
	通信費	350,000	374,471	24,471
	消耗品費・印刷費	800,000	666,585	-133,415
	室料	1,344,000	1,361,880	17,880
	旅費交通費	200,000	392,692	192,692
	会議費	400,000	154,548	-245,452
	GE事務所費	5,400,000	5,400,000	0
	直前G事務所費	100,000	100,000	0
	リース料(TEL・コピー)	330,000	160,704	-169,296
	光熱費	200,000	330,075	130,075
	駐車場代	216,000	189,900	-26,100
	雑費	86,281	340,658	254,377
	支出合計 (B)	15,726,281	15,672,608	-53,673

地区大会収支決算報告書

(単位:円)

項目	内訳	収入		項目	内訳	金額
		登録料・出席者数	金額			
人頭分担金		5,300円×2,251名	11,930,300	大会事務局	総務	1,110,910
大会登録料	会 員	10,000円×1,181名	11,810,000		事務局	2,231,700
懇親会	会 員	8,000円×582名	4,656,000		記念事業	10,117,800
	家 族	8,000円×17名	136,000			
	青少年	3,000円×14名	42,000	歓迎晩餐会		3,463,646
	小 計		4,834,000	懇親会		5,037,032
歓迎晩餐会	会 員	15,000×125名	1,875,000	交通対策		1,335,386
	家 族	15,000×8名	120,000	会場設営部会		1,975,822
	小 計		1,995,000	記念誌・広報部会		3,167,598
来賓登録料	地区外		0	接待部会		2,657,822
懇親会	地区外	8,000円×2名	16,000	ゴルフ運営部会		293,425
懇親会(家族)	地区外		0	エキスカッション		347,010
歓迎晩餐会	地区外	15,000円×12名	180,000	予備費		232,149
ゴルフ登録料	会 員	3,000円×101名	303,000	支出合計		31,970,300
	家 族	3,000円×2名	6,000			
	小 計		309,000			
祝儀			896,000			
収入合計			31,970,300			

特別会計 収支決算書

(単位:円)

		前年度繰越金	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越金
世界社会奉仕	予 算	-	810,000	0	-
	決 算	8,665,486	807,120	0	9,472,606
VTT	予 算	-	0	0	-
	決 算	5,000,000	0	0	5,000,000
規定審議会	予 算	-	300,000	900,000	-
	決 算	600,000	300,000	900,000	0

		前年度繰越金	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越金
危機管理委員会	予 算	-	0	0	-
	決 算	6,000,000	0	0	6,000,000

監査報告書

2018-2019年度の一般会計及び特別会計の収支計算につきまして帳簿並びに諸証憑を監査いたしましたところ、適正に執行されておりましたことを報告いたします。

2019年8月21日

監査

税理士

高井 和彦



HAMBURG「2019年ロータリー国際大会」に出席して

国際ロータリー第2740地区 地区幹事 **増本 一也** (佐世保RC)

第110回ロータリー国際大会が2019年6月2日(日)、ドイツのハンブルクで開催されました。

ハンブルクの町は、人口22万人の都市です。特に道路沿いには木々が多く、建物と一体感をなすその街並みは大変美しく印象的でした。この国際大会への世界からの登録者数は約3万人、当地区からの登録者数は22名でした。また、この国際会議参加の主目的である各クラブから預かった信任状は、無事提出いたしました。

本大会はハンブルク最大会場メッセで、午前10時30分と午後3時30分の2回に分けて開催され、私たちは午後の部に出席しました。

2018-2019年度国際ロータリー会長 BARRY RASSIN氏が壇上に出てこられると、会場に集まった約8千人が総立ちして、万雷の拍手をもってお迎えしました。会長のお話は同時通訳され、国際ロータリーは先ずEND POLIO NOWと唱えられました。その次に、2023年6月までに現在のロータリアンの30%は女性会員にしたいと力説されました。一段落するとRotaryの原点である5つの項目を訴えられました。

1. Diversity (多様性)
2. Leadership (リーダーシップ)
3. Fellowship (親睦) …ここで力説されたのは、特にロータリアンは常に親睦がなければならぬから常日頃から仲よくしようと唱えられた。
4. Integrity (高潔性)
5. Service (奉仕) …ロータリー(ランナー)が、END POLIOのゴールテープを目指して走っている姿で間もなくゴールに近づいている表現。

また、場面が変わってドイツの画家による即筆画(大きさは2m×2m位)が披露されました。

絵筆で大胆に描かれ、見ている私たちは何を描いているのか全く判りませんでしたが、10分後に描いた絵を逆さまにしたら、何とロータリアンがインドでポリオワクチンを幼児に投与している姿の絵になったのです。(全観衆から驚きと歓喜の声が出ていました)

その絵の左下にRI会長が、END POLIO NOWとサインをされ、観衆一同拍手喝采でした。

世界各国からハンブルクに集まったロータリアンは、それぞれこれからもロータリー活動が続けるという力強い意欲が沸いて帰国されたと思います。次年度の国際大会は、2020年6月6日～10日ハワイのホノルルで開催されます。



ハンブルク会場外観

